

## 企業理念を具象化する——殺菌製にすぐれた黄銅製ドアハンドル、ドアノブを全面採用した大型複合施設誕生！

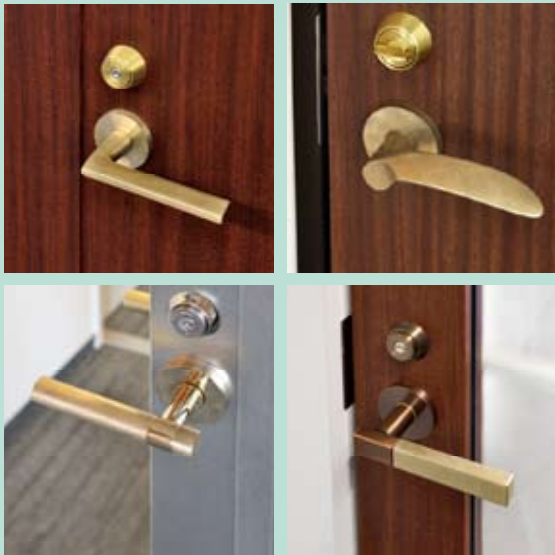


このほど埼玉県さいたま市にある三菱マテリアル(株)大宮総合整備センター内に建設された複合施設(研修、宿泊、福利厚生、オフィス等)の、百十二箇所に黄銅製のドアハンドル、ドアノブが採用された。世界でもあまり類を見ない一物件での使用である。

同施設は「人と社会と地球のために」という同社グループの経営理念の下、最大の経営資源である「人(人

財)づくり」の拠点であるとともに、地球環境や利用者の健康に配慮する同社グループのさまざまな製品を使用したグループを象徴する建物と位置づけている。その製品のひとつがこのほど採用された人体に有害な鉛を含まず、殺菌性、耐変色性にすぐれた黄銅製ハンドル、「エコプラス」である。

銅合金の殺菌作用は、二〇〇八年米国環境保護庁(EPA)で金属としては初めて認証されたもので、一般的に長年使用すると変色することが多い銅合金は、ドアノブに使用する場合にコーティングなどの表面処理を施すが、一方で殺菌性は失われる。しかし「エコプラ



ひと工夫のデザインが施されたドアノブ

スは」、高い殺菌性が確認されており、しかも耐変色性が比較的すぐれている。

同施設の百十二箇所に設置されたドアハンドル、ドアノブは、部屋の用途、目的に応じてハンドル四タイプ、ノブ四タイプが採用されており、それぞれのすぐれたデザイン性が建物の風格を否応無くひき立てている。

製作に当たられた(株)ユニオンでは、「デザインについては協議の上特注対応、エコプラスの特性に応じて切削加工時のスピードを調節するなど慎重に製作しました。

今後エコプラスの特性の中でも特に殺菌作用が広く認識されて採用につながることを期待しています。」と言われる。



部屋の用途に応じた異なるデザインのドアハンドル

